

総務文教常任委員会審査概要報告書

委員長 高岡 宏和

- I 開催年月日 令和 4 年 5 月 20 日（金）
II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 35 分
III 出席委員等 [出席委員] ◎高岡 宏和 ○山口 泰祐 田中 勝文
出町 譲 中村 清志 中川加津代
坂林 永喜 上田 武 曾田 康司
(◎…委員長 ○…副委員長)
[議長] ※坂林 永喜議長は委員として出席
[副議長] 本田 利麻
[説明員] 別紙名簿のとおり
[委員外議員] なし
[事務局職員] 西本 幸夫 高嶋 史恵 堀田 寛之
[傍聴者] 1 名

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔総務部〕

- (1) 令和 4 年度高岡市職員採用試験の概要について
- (2) 令和 3 年度寄附金（ふるさと納税等）の状況について
- (3) 高岡市災害時受援計画の策定について

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【令和 4 年度高岡市職員採用試験の概要について】

- 令和 4 年度の職員採用予定数は、3 年度の職員の退職者数に見合ったものなのか。
- △ 退職者数を踏まえた募集人数となっている。
- 職員の時間外労働の縮減など、働き方改革を推進することが極めて重要と考える

が、見解は。

- △ 超過勤務の縮減は非常に大事なことであり、毎月1回、午後8時に庁舎内を巡回し、帰宅を促す取り組みをしている。また、超過勤務時間をもとに、各所属長に対して、業務分担などの手法をはじめとした改善策を考えるよう指導もしている。
- 職員が働きがいを持って、市民サービスに対応できる人員体制を構築してほしい。(要望)
- 通年募集型採用試験が設けられており、職務経験5年以上が一つの条件になっているが、どのような人材を求めているのか。
- △ 専門職の分野で、資格を持っている方をしっかりと確保していきたいと考えている。また、技術職職員の応募が少ないという状況があるので、技術職職員もしっかりと確保していきたい。
- 県内の総合病院で、薬剤師が不足しているという新聞報道があった。高岡市民病院でも不足しており、今回の募集人数が2名程度になっているが、人数はそれで十分なのか。
- △ 薬剤師については、これまでも募集しているが、採用できていないという状況にあり、欠員状態が続いている。それを解消するため、令和4年度も募集したい。

【高岡市災害時受援計画の策定について】

- 災害が起こったときに、ボランティアを受け入れる窓口は、社会福祉協議会になっていると思うが、市と社会福祉協議会はどのような位置付けになっているのか。また、実際に災害が起こったときに、ボランティアへの指揮命令系統について、どのように考えているのか。
- △ ボランティアの受付に関しては、社会福祉協議会に窓口となっていていただく。市の役割としては、被害の状況や避難所の状況などを情報共有し、資機材の提供を行うこととしている。また、指揮命令系統については、社会福祉協議会とボランティアとの協定となっているため、社会福祉協議会からの指示になると考えている。
- 様々な団体が社会福祉協議会と災害協定を結んでいるが、どれも二者協定となっており、協定を結ぶ団体としては、本市を交えた三者協定を結びたいという要望もある。県内には、三者協定を結んでいる市が1市だけあったと記憶している。本市でも三者協定が可能であれば、検討してほしい。(要望)

〔教育委員会〕

- 。高岡市立小・中・義務教育学校における修学旅行・宿泊学習等について

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

2 その他

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

【補助金の見直しについて】

- 高岡市全体の補助金カットの見直しの余地は。
- △ 財政健全化緊急プログラムの目標達成により、収支均衡した財政が確立された。
収支均衡した財政を持続可能なものにしていくことと、持続可能な未来都市高岡を実現するために必要な施策に取り組むこと、今後はこの2つを両立していくことが重要と考えている。補助金については、予算要求や予算査定の際に、適正な評価を絶えず行い、金額規模や他に最適な手法がないかを含めて検討し、予算化していきたいと考えている。このような考えのもと、費用対効果の高い施策への選択と集中に加え、スクラップアンドビルドを念頭に置き、高岡を前へ進めるため、未来を感じる施策を予算に反映し、取り組みを推進していきたい。
- 予算査定の際に、一つ一つ見直しを行い、必要があれば、補助金カットを見直していくという考えなのか。
- △ カットしたものをそのまま元に戻す考えはないということである。査定など、評価をした上で、予算化していくということである。
- 5月14日から市長のタウンミーティングが始まっているが、その中で、補助金カットについて、市民の方々からの意見や要望はあったか。
- △ カットされた補助金を戻してほしいという意見はなかったと記憶している。
- 5月下旬までタウンミーティングが続くが、財政健全化緊急プログラムに関連して補助金のカットされたことを、市民がどのように受け止めているのかをとらえた上で、先ほど答弁された考え方や方針に修正等が必要であれば、しっかりと検討してほしい。(要望)

【実業家 前澤友作氏からのふるさと納税 1,000 万円の使途について】

- 実業家 前澤友作氏からのふるさと納税 1,000 万円の使途を発信することは効果があるが、3月定例会での答弁も踏まえ、より具体的な使途は検討しているのか。進捗は。
- △ 前澤氏からのふるさと納税については、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で、打撃を受けている観光産業の活性化のために、アフターコロナを見据えた観光振興の取り組みに有効活用することになっている。原則として、寄附金については、寄附を受けた年度に、一旦、ふるさと応援基金に積み立てた後、翌年度に寄附の目的に沿って活用しており、決算の際に充当先の事業を整理している。このことから、前澤氏からの寄附の具体的な使途については、現時点では、まだ検討段階である。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

総務文教常任委員会 当局説明員（８名）

[illegible]